



Press Information

VPR09-044

2009年10月23日(金)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

「フォルクスワーゲンAG サステナビリティレポート2009/2010 Driving Ideas.」(日本語版)を発行

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:ゲラシモス ドリザス 本社:愛知県豊橋市、略称:VGJ)は、フォルクスワーゲンAG発行の「サステナビリティレポート2009/2010 Driving Ideas.」の日本語版を発行しました。

フォルクスワーゲン グループは、「サステナビリティ」を企業経営の基本理念と見なし、経済的成功、環境保全、社会的責任という3つの要素を、全世界において長期的に調和させることを目指しています。昨年の秋以降世界を襲った経済危機の中でも停滞することなく、走る楽しさと環境負荷の軽減を両立させたパワートレインの開発を進め、持続可能なモビリティ社会の実現に向けて前進し続けています。本レポートは、このように未来を見据え、グローバル企業としての責任を果たそうとするフォルクスワーゲンの取り組みを紹介しています。

フォルクスワーゲンでは、1995年に環境報告書の作成を開始し、現在では2年ごとに「サステナビリティレポート」として発行しています。第3号となる今回のレポートでは、環境・財務・社会の各分野に関連する主要指標のセクションを大幅に拡充したほか、欧州で販売している新車フリートのCO₂排出量についても初めて記載しました。

本レポートのPDF版は、フォルクスワーゲン公式ホームページ内の「サステナブル モビリティサイト」(http://www.volkswagen.co.jp/sustainable_mobility/)からもダウンロードできます。

— 記 —

【フォルクスワーゲン AG サステナビリティレポート 2009/2010 Driving Ideas.】概要

- ①「サステナビリティ」を経営理念とし、グローバル企業としての責任を果たそうとするフォルクスワーゲン グループの取り組みを紹介。経済危機の中でも停滞することなく、持続可能なモビリティ社会の実現に向けて前進し続けるフォルクスワーゲンの戦略について説明。
- ②「環境」「財務」「社会」関連の各指標のセクションを大幅に拡充し、欧州で販売している新車フリートのCO₂排出量についても初めて記載。

※本レポートのPDF版は、フォルクスワーゲン サステナブル モビリティサイト (http://www.volkswagen.co.jp/sustainable_mobility/)にも掲載しています。

● フォルクスワーゲン グループ ジャパン 広報部

ガストナー tel. 03-5575-7364、 三浦 tel. 03-5575-7360

プレス専用サイト

<http://www.volkswagen-press.jp/>

プレスサイト登録用アドレス

http://www.volkswagen-press.jp/new_registration/

● お客様お問い合わせ先

フォルクスワーゲン カスタマーセンター tel. 0120-993-199